

郵便
報知新聞
第百五十五号

宮城縣亶理郡十二小區亶理學の農熊沢
松之助八年前五丁路の坂で起るに老て血
は徒らに同郷有藤豊吉の后妻との
容色ふ想ぞうけ夫が留守の雨と喜信
ま路は深し死中とあやむ松之助思ひ
り貧困の豊吉をねへ金と換ふとの
乞ひ時快楽を契らんとの母言を
依頼しと斯と談合ふ及びに豊吉の點
頭して左迄の懇切なる難く十田と吉一
まい妻と嫁とく就て父と娘と諸共
引取あらまじと返言あれば仲人幸細
引受て先きの娘と連子八母と妻
合せざるの母は具一家同時三夫
婦と揃ひの世はも稀なる吉瑞あり
けり
のんく舎南龍誌



金鐘堂

彫工録